

令和 3年度予算見積調書

課室名：感染症対策課
 担当名：感染症・新型インフルエンザ対策担当
 内線：3572 (単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B9	感染症重大事案対策事業		一般会計	衛生費	公衆衛生費	予防費	感染症予防費	
事業期間	平成30年度～ 令和 5年度	根拠法令	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律		宣言項目	03 大地震など危機への備えの強化	SDGsゴール	3
					分野施策	020519 感染症対策の強化	SDGsターゲット	3-3
1 事業概要			5 事業説明					
<p>グローバル化の進展や国際的イベントの開催に伴い、重大な感染症が発生し、感染拡大するリスクが高まっている。</p> <p>そこで、県民の健康を守り、感染拡大を防止するとともに、国際的イベントの円滑な開催を支援するため、重大な感染症を迅速に探知・解明できる体制を構築する。</p> <p>(1) 重大感染症早期探知体制の構築 6,387千円 (2) 検査体制の構築 13,029千円 (3) 評価・分析技術の向上 320千円 (4) 診断技能向上研修とネットワークづくり 1,460千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 重大感染症早期探知体制の構築 6,387千円 改正感染症法に基づく疑似症サーベイランス事業として、定点医療機関が感染症疑似症患者を診断した場合に速やかに県に報告する。 また、県独自の取り組みとして医療機関が急激な症状が悪化した患者等を診断した場合に速やかに県に報告する。県はリスク評価を行い、状況に応じて原因調査や感染拡大防止の対策を行う。</p> <p>イ 検査体制の構築 13,029千円 医療機関等で検査ができない健康危機事案について、衛生研究所に導入した次世代シーケンサーを活用し原因不明な重大事案を迅速に解明する。</p> <p>ウ 評価・分析技術の向上 320千円 検査結果をだすのみならず、検査結果と患者の臨床所見とをあわせ、医療機関の診療において必要な価値ある情報を提供するため、解析結果評価委員会を設置し、検査結果の総合的な評価を行う。</p> <p>エ 診断技能向上研修とネットワークづくり 1,460千円 高い専門性を有する実務者、現場の感染症対策を牽引する指導者を育成する。 地域の医療機関の感染症に対する意識を向上させる。</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 疑似症サーベイランスは通年行う。強化サーベイランスは東京2020大会開催期間中+前後に県内において、ベースラインの把握及び感染症発生動向を確認する。</p> <p>イ 衛生研究所に導入した新たな検査技術を活用し、原因不明な感染症事案を迅速に解明できる体制を構築する。</p> <p>ウ 検査結果を評価分析する技術を身に付け、医療機関に必要な価値ある情報を提供できる体制を構築する。</p> <p>エ 感染症を専門とする医療従事者と行政職員に対する研修会及び地域の医療機関に対する研修会を実施する。</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア 感染拡大前に対応することができ、感染リスクの脅威を軽減し、国際的イベントの円滑な開催の支援ができる。</p> <p>イ 原因不明な事案を迅速に解明することで、県民の健康を守り、県民の不安を解消することができる。</p> <p>ウ 解析結果より医療機関の診断能力が向上され、感染症の早期発見・まん延防止を図ることができる。</p> <p>エ 医療従事者や行政職員の感染症対応能力が向上し、感染症の早期発見・まん延防止を図ることができる。</p>					
2 事業主体及び負担区分								
<p>(1) (国1/2 県1/2)、(県10/10) (2) (県10/10) (3) (県10/10) (4) (国1/2 県1/2)</p>								
3 地方財政措置の状況			なし					
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員			9,500千円×2.0人=19,000千円					
			財 源 内 訳				一般財源	前年との 対比
予算額		国庫支出金						
決定額	21,196	3,333					17,863	0
前年額	21,196	3,333					17,863	